

平成 29 年度 学校経営構想 伊深小学校

<美濃加茂市学校教育の方針と重点>

- 【めざす姿】自己にきびしく 人にやさしい
心身ともにたくましい児童生徒
- 【方針】校長の願いのもと全職員が一丸となって学校の教育目標の具現に徹する学校経営を推進する
- 【重点】*確かな学力を身に付ける授業づくり
*人間尊重の気風がみなぎる学校づくり
*地域ぐるみの教育の推進

<学校課題>

- 学習規律を身に付けた主体的な学びによる確かな学力の育成
- 社会的なスキルを身に付け、互いに高まり合える集団づくり
- 一人一人の教育的ニーズに応じた支援の充実
- 学校の外でも自分を表現することができるたくましさ

学校の教育目標

明るく笑顔あふれる伊深っ子

学び合う 思いやる やりぬく

【経営方針】 一人一人を大切に、すべての子に力をつける学校づくり

【重点】 インクルーシブ教育の推進（小規模校の特性を生かして）

【合い言葉】 「あなたが大切！ だれもが主役」

めざす姿 <児童は>

よく聴き、考える頭（学び合う） ・基礎的、基本的な内容と学び方を身に付ける。	やさしい心（思いやる） ・お互いの良さを成長を認め合い、協力し合う。	やりぬき、働く手足（やりぬく） ・夢をもち、仲間とともに、何事もやり抜く強い意志をもつ。
---	---------------------------------------	---

<教師は>

学びづくり ・ユニバーサルデザインの視点を生かした授業改善で、どの子にも楽しく「わかった」「できた」を実感させる。	人づくり ・児童理解に努め、「自己肯定感」と「規範意識」を育てる。 ・「思いやり」と「感謝の心」を育てる。 ・「社会的なスキル」を育てる。	協働づくり ・互いに支え合い、切磋琢磨する熱意と創意と行動力のある職員集団「チーム伊深」を目指す。 ・家庭、地域、保幼小中との、より一層の連携を推進する。
--	--	---

【研究主題】 どの子も楽しく「わかる」「できる」授業づくり
～ユニバーサルデザインの視点を取り入れた指導の工夫～

みのかも教育 2 1 FROM-0 歳プラン『特色ある学校づくり』の推進

【授業改善】	【面による指導】	【ロングスパン教育】
<ul style="list-style-type: none"> ・生きて働く真の学力をつけるための授業改革 ★ユニバーサルデザインの視点による授業改善 ⇒ どの子にも「わかる」「できる」授業を目指す。 ◎基礎・基本の定着 ・つきたい力の明確化 ・言語活動の位置づけ ・3つの見届けの徹底 ★伊深スタンダードの構築 ◎学び方指導の徹底 ・話し方、聞き方名人 ・ノート指導 ・音読、朗読（表現力の育成） ・10点筆箱 ・すけいふ、おけいふ、パワーアップ学習 ・家庭学習の充実 ・特別支援教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の場や他者との関わりの機会を広げた面による指導の充実 ★豊かな表現力の育成 「音読・朗読」「歌声」の質の向上 ⇒ いのこ園さんによるワークショップ ⇒ 外部講師による歌声づくり ★人と人とのつながりを大切にしたあいさつ運動のより一層の充実 ⇒ あいさつマンデー、保小中連携 ★地域ぐるみの防災教育の推進 ⇒ 防災キャンプの実施 ★SSTや視機能トレーニングの導入 ⇒ 社会的スキル、言語能力 ◎仲間との関わり ・なかよしグループ活動 ・三和小との合同学習 ◎心の成長・共生力 ・道徳教育の充実（議論し合う授業） ・学級づくり（実践的態度の育成） 	<ul style="list-style-type: none"> ・0歳から幼保小中高の連携や積み上げを大事にしたロングスパン教育 ★家庭、地域や幼保中高との連携の強化 ⇒ HPの充実による情報発信 ⇒ 学校だよりによる情報発信 ⇒ 双葉中校区共通実践の充実 ⇒ ほくぶ保育園との交流事業 ◎健やかな体づくり ・基本的な生活習慣の徹底 ・学級遊び、縦割り遊び、縄跳び運動 ・食指導 ・歯磨き指導、フッ化物洗口 ◎地域社会人の育成 ・総合的な学習、生活科での外部講師 ・たてわり（もくもく）掃除 ・一家庭一ボランティアの実施 ・幼保小中高の共通実践
<ul style="list-style-type: none"> ◎学校評価を生かした学校経営の質的向上 ・PDCAサイクルによる自己評価と改善プロセスの重視 ・学校関係者評価の公表と連携による質的改善 		

【平成29年度数値目標】

- ①学校が楽しい 90%以上 ②より質の高い読書 家庭読書年間50時間
- ③家庭学習の推進 学年×10分+音読10分+読書10分
- ④全校欠席0 年間100日
- ⑤地域でのあいさつ 95%以上